

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点



吉祥寺通り－1

平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」、「ゆりのき橋通り」、「方南通り」、「柴又街道」、「中杉通り」、「千川通り」と歩いてきました。

今回は「吉祥寺通り」を歩きます。吉祥寺通りは青梅街道の練馬区関町三丁目関町交番前交差点を起点に、甲州街道の世田谷区の給田四丁目の給田交差点に至る延長約8kmの道です。写真右上は吉祥寺通りの起点の道路名標識（都道116号線）です。途中から都道113号線、都道114号線と変わり、終点は都道117号線になります。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[青梅街道] 練馬区関町南三丁目 最寄駅 西武新宿線 武蔵関駅南口

武蔵関駅南口から青梅街道（都道4号線）に出て、左へ進むと吉祥寺通りの起点の案内板（写真下左）がありました。



その先の左側の石神井西小学校の門脇に「青梅街道」の碑がありました。説明板には「青梅街道は 1606 年（慶長 11 年）江戸城の大改修に当たって青梅村付近の上成木・北小曾木村などから江戸城の修理に必要な石灰を搬送するために開かれた道で、別名 成木街道とも石灰街道とも呼ばれていました。青梅から先は間道となって大菩薩峠を越え、甲州塩山付近で甲州街道に結ばれて居ることから甲州裏街道といわれ、またこのような産業道路としての役割の他に武州御殿山へ詣でる人々の参詣路でもありました」と記載。青梅街道の固有名詞になったのは 1880 年（明治 13 年）頃で、1962 年（昭和 37 年）正式に東京都の通称道路名（東京都新宿区大ガード西～山梨県境）になりました。

〔関町交番前交差点〕 練馬区関町南三丁目

最寄駅 西武新宿線 武蔵関駅南口



写真左は吉祥寺通り起点の関町交番前交差点です。右から左への道が青梅通りです。

吉祥寺通りは直進します。

青梅街道は交通量が多く、車を避けた写真撮影に苦労しました。

〔千川上水〕 練馬区関町南二丁目



右側に「千川上水の流れ」（写真左）がありました。千川上水は玉川上水を水源に境橋（現在の東京都西東京市と武蔵野市桜堤との境界付近）から江戸城の城北地域へ流れる用水路（上水）です。現在は使用されておらず、大部分が暗渠化されています。東京都の清流復活事業で一部区間が復活しています。

[武蔵野市市民花壇] 武蔵野市吉祥寺東町二丁目



吉祥寺通りは武蔵野市に入ります。道沿いに花壇（写真左）があり、「武蔵野市立吉祥寺通り市民花壇」と表示されていました。歩行者にとって一服の清涼感を与えられました。

[四軒寺交差点] 武蔵野市吉祥寺東町一丁目

最寄駅 JR中央線 吉祥寺駅



交差点近くの安養寺、光専寺、蓮乗寺、月窓寺を総称して「四軒寺」と呼びます。吉祥寺通りは四軒寺交差点（写真上右）を直進します。ここから都道 113 号線となります。左へ行く荻窪方面へ行く道も同じ都道 113 号線ですが、通称は東京女子大通りです。

[八幡宮前交差点] 武蔵野市吉祥寺東町一丁目

最寄駅 JR 中央線 吉祥寺駅

八幡宮交差点（写真下右）で五日市街道（都道 7 号線）と交差します。左へ行くと高井戸北方面、右へ行くと小金井橋方面です。吉祥寺通りは都道 114 号線となり直進します。



[武蔵野八幡宮] 武蔵野市吉祥寺東町一丁目

最寄駅 JR 中央線 吉祥寺駅



八幡宮前交差点角には「武蔵野八幡宮」(写真上)があります。創建は789年(延暦8年)坂上田村麻呂が宇佐神宮の分霊を現在の水道橋駅付近に勧請したと伝わります。江戸時代の明暦の大火で「諏訪山吉祥寺」とその門前町は焼失、門前町と周辺住民は移転を命じられ、1661年(寛文元年)武蔵野原野に「吉祥寺村」を開村、その移住と共に武蔵野に遷座し、吉祥寺村の鎮守となりました。また、この辺りは江戸時代から「吉祥寺ウド」の栽培が盛んだったそうです。

[蓮乗寺] 武蔵野市吉祥寺本町一丁目 最寄駅 JR中央線 吉祥寺駅



四軒寺のひとつの蓮乗寺が吉祥寺沿いにありました。中に入ってお参りしました。日蓮宗のお寺なので日蓮上人像がありました。厄除け日蓮と呼ばれ、厄除男女の守り本尊として有名です。

[吉祥寺駅前交差点] 武蔵野市吉祥寺本町二丁目/三丁目

最寄駅 JR中央線 吉祥寺駅

JR中央線ガードをくぐると吉祥寺駅前交差点(写真下左)で井ノ頭通り(都道7号線)と交差します。左へ行くと高井戸方面、右へ行くと五日市街道方面です。吉祥寺通りは直進して井の頭恩賜公園方面へ進みます。



[井の頭恩賜公園 井の頭池]

武蔵野市/三鷹市

最寄駅 JR中央線 吉祥寺駅

吉祥寺通りの左から井の頭恩賜公園入口（写真下左）があるので、井の頭池にの桜見学で立ち寄りました。写真下地図の左の池が井の頭池です。



2024年の東京のソメイヨシノの開花は3月29日（昨年より15日遅く）、満開宣言は4月4日でした。4月8日の撮影でしたが、まだ満開状態でした。



井の頭池の桜と紅葉は見事です。寅さん歩 253 東京の桜 2019—2 及び寅さん歩 1977 東京の紅葉・黄葉—5 をご覧ください。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月22日吉田宿（現在の愛知県豊橋市）（江戸日本橋から288km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左が「吉田 豊川ノ橋」です。豊川にかかる豊川橋を遠望しています。豊川橋は東海道に架かる四大橋の一つで、長さは120間(217m)あります。右手では吉田城櫓を修復する職人が描かれています。

三河地方は日本有数の養鰻産地です。活きの良いうなぎは、古くからこの地方の名物です。



豆腐田楽と大根菜の組み合わせの菜めし田楽（写真下左）は、素朴でひなびた味わいの名物です。豊橋名産として知られるちくわなどの練り製品は江戸時代から続いています。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝